

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、脳神経外科では、本学で保管している診療後の残余検体と診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方またはその代理人の方の中で、検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 脳腫瘍内のタラポルフィン Na 濃度の定量と治療効果の関係

[研究対象者]

2017年1月～2023年3月までの間に、脳神経外科にて神経膠腫と診断され、脳神経外科で診断・治療を受けた方

[利用している残余検体・診療情報等の項目]

残余検体：手術時に採取した悪性脳腫瘍（うち、残余があるものに限る。）

診療情報等：診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、併存疾患名等

[利用の目的]（遺伝子解析研究：有）RNAシーケンス数症例

薬剤の組織内濃度と治療効果の関係性について解明することを目的としています。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2026年3月までの間（予定）

-----  
[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されないことがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 岩本絹子

研究責任者：東京女子医科大学 先端工学外科 特任准教授 北原 秀治

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 先端工学外科 小野寺美琴

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）